

元旦の夕刻に起こった令和6年能登半島地震には、本当に驚きました。

被災された皆様や関係者の皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、かばた医院は令和5年10月26日に開業27周年を迎えました。これもひとえに皆様のお蔭であります。開業以来、土曜日は全日診療という方針を貫いてきましたが、昨今の感染症の大流行によって診療終了が20時から21時頃になることが重なり、私もスタッフも疲弊してきました。私は、この1月で68歳になり、身体的にも無理がきかなくなってきました。

ということで、たいへん申し訳ありませんが土曜日の午後の受付は行なわないことにしました。

どうかご理解のほどお願いいたします。かばた医院が末永く皆様のお役に立てるように、スタッフともども頑張っていくつもりです。

【最近目立つ病気】

様々な感染症の勢いはとどまるどころを知りません。

A型インフルエンザは警報級の流行が続いています。新型コロナウイルス感染症も再びじわじわと増加に転じています。ノロウイルス感染と思われるウイルス性胃腸炎も目立ってきました。アデノウイルス感染症や溶連菌感染症が大流行し、検査キットが入荷しない状態です。年末になっても手足口病やヘルパンギーナもみられるという異常な年になりました。RSウイルスやヒトメタニューモウイルスがみられなくなったのはよかったと思います。感染症の大流行に加えて医薬品の供給不足により、感冒に使用する咳止めや去痰剤が不足しており、ご迷惑をおかけしています。また、インフルエンザの大流行で乳幼児の抗インフルエンザ薬(一般名オセルタミビルドライシロップ、先発品名タミフルドライシロップ)が不足しています。

コロナが猛威を振るった20/21、21/22の2シーズンは徹底した飛沫・接触感染防止対策で、インフルエンザの流行はほぼ抑えられていました。もう一度その頃を思い出していただき3密(密閉・密集・密接)を避けて、手洗いの励行、マスクの着用をお願いいたします。

【インフルエンザの状況】

現在の流行の特徴は、二つのタイプのインフルエンザA型が同時に拡大していることです。感染研によると、直近約1か月間はA香港型と呼ばれる「AH3亜型」が60%、09年に新型インフルエンザとしてパンデミックを起こした「AH1pdm09」が37%を占めています。

当院の状況から判断すると令和5年9月までにA型にかかった人は再度A型にかかる可能性があります。また、B型に感染している人が出てきましたので今後はB型の流行に注意が必要です。

インフルエンザに感染すると、そのウイルスのタイプに対する免疫はできますが、別のタイプに感染する可能性はあり、感染対策を続けるこ

とが大切です。現行のインフルエンザワクチンは4価ワクチン(A型2種類、B型2種類を含有)ですので、1度インフルエンザにかかっても健康時にワクチンを接種することをお勧めします。



【A群溶血性連鎖球菌咽頭炎】

A群溶血性連鎖球菌がヒトに感染すると、その侵入部位や組織によって様々な症状を起こします。また、時に稀ながら劇症型溶血性連鎖球菌感染症の原因となることがあります。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎の潜伏期間は2~5日であり、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。通常発熱は2~3日以内に下がり、主症状は数日で消失する予後良好の疾患ですが、猩紅熱や急性糸球体腎炎に発展する場合があります。治療は抗菌薬が有効です。いずれの年齢でも起こりますが、幼児期から学童期の小児に多いものです。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、感染症発生动向調査の小児科定点把握の5類感染症であり、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関から毎週報告されています。新型コロナウイルス感染症流行前の2019年までの感染症発生动向調査のデータでは冬季および春から初夏にかけての2つの報告数のピークが認められていました。2020年春以降は大きな流行はなく推移していましたが、2023年は第19週頃から3年ぶりの流行を認めました。昨年から再度増加傾向となり過去10年間で最も多い報告数となっています。(IDWR 2023年第43号より抜粋、一部改変)

【5種混合ワクチンが定期接種化】

厚生労働省の予防接種基本方針部会は、これまで乳幼児が別々に打っていた4種混合とインフルエンザ菌b型(ヒブ)のワクチンについて、二つを合わせた5種混合ワクチンの

定期接種を2024年4月から開始する方針を了承しました。

対象年齢は生後2カ月から7歳半まで。生後7カ月までに接種を開始し、計4回接種します。合わせて打つことで身体的負担が軽減できます。4種混合は百日ぜき、ジフテリア、破傷風、ポリオ予防のワクチンです。ヒブは感染すると肺炎や敗血症・髄膜炎などを発症する場合があります。2013年にワクチンが定期接種に導入されました。わが国で承認された5種混合ワクチンは以下の2種類があります。

ゴービック(阪大微生物病研究会・田辺三菱製薬(株))

クイントバック(KMバイオロジクス(株)・Meiji Seikaファルマ(株))



☆西念の駅西福祉健康センター内の金沢広域急病センター(Tel:222-0099)では午後7時30分から11時まで小児科と内科の診療を年中無休で行っています。加畑の担当は1/28の予定です。なお3/24は、かばた医院が当番医です。

☆金沢市では乳幼児の任意接種のワクチンについての助成金制度を行っています。詳細は受付でお尋ね下さい。

☆当院のHp(<https://kabata-cl.jp>)から順番待ちシステムにアクセスできます。ネットで順番予約ができますので、ご利用ください。

☆世界の宝「憲法9条」を次の世代に贈りましょう。

